

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
PC/P-9.5 PC/P-9.6 PC/P-9.7	<p>PCV ベントを開始する場合は、S/P 水位を確認し S/P ベントライン位置以上の場合 (S/P 水位計オーバースケール) は D/W 側、それ以下の場合は S/P 側のベントラインを使用し、小口径ベントライン (耐圧ベントライン, SGTS ライン又は AC 系パーズライン) によりベントを行う。 (注6)</p> <p>上記の操作にもかかわらず S/P (D/W) 圧力が上昇する場合は、大口径ベントラインによりベントを行う。</p> <p style="text-align: center;"><尚、PCV ベントは耐圧ベントラインを優先する。></p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>確認事項 # 19</p> <p>PCV スプレイを作動させる場合は S/C 圧力を確認し、13.7kPa 以下となったら負圧になる前に PCV スプレイを停止する。</p> </div> <p>(注6) PCV をベントする場合、SGTS 内圧が設計圧力を超えないようにするため、S/P 側出口バイパス弁を使用し、徐々にベントする。</p> <p>また、ベント時には S/P 水が減圧沸騰する恐れがあるため HPCI、RCIC の水源が S/P になっている場合には事前に CST 側に切り替えておくこと。</p> <p>この際、HPCI 系 S/P 側吸込隔離弁 [MO-23-57, 58] の S/P 水位高による開信号をバイパス (リフト) する。</p> <p>PNL9-39 (DD) C2767E-ESS2 (56) ♪ PNL9-39 (DD) C2767F-ESS2 (58) ♪</p>	解説 B-19
	<p style="text-align: center;">耐圧ベントライン</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SGTS の運転を停止し、2 台を待機 (CS プロック) にする。 2. SGTS の自動起動信号を除外する。 ・SGTS (C/D) オーバライド COS 「オーバライド」位置 3. SGTS トレイン出口弁 [BF-2-7, 2-9] を「閉」する。 4. VENT ISOLATION SIGNAL BYP SW キースイッチ (ATOMOS CONTROL) を「TORUS」側にする。 5. TORUS 側ベント弁 [AO-205] を「全開」する。 	<p>(S/P 水位計 OS の場合 「DRYWELL」側) S/P 水位計 OS の場合 「DRYWELL」側ベント弁 AO-207 を開する。</p>	参考資料 (参考 5 図 3)

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
	6. PCV ベント弁[M0-271]を徐々に「開」する。 7. PCV 耐圧強化ラプチャーディスクが作動し、 S/P(D/W)圧力が低下することを確認する。 8. 以上の操作で減圧できない場合、小弁側 (S/P側[A0-206]D/W側[A0-208])を「開」 する。	(作動圧力 427kPa)	

4-1-12(PC/P)